

福岡県水産業の動向

- 平成20年度 水産白書 -



福岡県

表紙の写真

漁業調査取締船「つくし」
の竣工式の様子
(25,48ページ)

福岡のりを使った絵巻すし
教室の様子
(52ページ)

身の十分詰まった「豊前海
一粒かき」
(5ページ)

筑後川河口域で漁獲された
エツ
(3ページ)

利用にあたって

- 1 本書の内容については、漁業生産等の統計資料は平成19年の第55次福岡農林水産統計年報を、その他の資料は特に断りのない限り平成20年度のものをまとめています。
- 2 本書についての問い合わせは、福岡県農林水産部水産局漁業管理課水産総務係(電話092-643-3553)へお願いします。

はじめに

本県は三方を豊かな海に囲まれ、内には国内有数の河川を有するなど水産業の基盤として大変恵まれた条件を有しており、それぞれの漁場で特色ある水産物が生産されています。

これら本県の安全でおいしい水産物を県民の皆さんに安定的に供給できるよう、県では、水産業の中長期的な施策の方向性を示した「福岡県水産振興基本計画」に基づき、さまざまな施策展開を図っています。

本書は、基本計画に基づく主要施策の取組状況や本県水産業が抱える現在の課題と対策を明らかにすることにより、本県水産業の動きを総合的に捉え、今後の進むべき方向を示すことを目的に毎年刊行しているものです。

水産業を取り巻く状況は、資源の減少、魚価の低迷などたいへん厳しいものがあります。

そのような中、平成20年度は、社会問題にまでなった燃油高騰により、本県漁業の高コスト体質が改めて浮き彫りとなった年でした。同時に収益性を高めようと漁業者による直接販売の取組も広がりをみせています。

また、筑前海の密漁対策と漁業振興のため漁業調査取締船「つくし」が竣工したことや有明海において県が開発したノリ新品種「福岡有明1号」の養殖が始まったことなど本県水産業の発展につながる年でもありました。

本書は、平成20年度の本県水産業の動向を写真やグラフをふんだんにつけて、わかりやすく解説しています。本書により、水産業の関係者はもとより、広く県民の方々にも本県の水産業について理解を深めていただくとともに、市町村や漁業関係団体等における今後の施策の一助となれば幸いです。

目次

特集

- 1 漁業の収益性を高めるために 1
- 2 有明海 豊かな海の再生のために 3
- 3 カキ養殖業の更なる発展のために 5
- 4 燃油高騰を振り返って(トピック) 7

福岡県水産業の主要指標と現状

- 1 福岡県水産業の概要 9
- 2 福岡県水産業の主要指標 11
- 3 水産業の現状 13

主要施策の展開

- 1 安全・安心な水産物の安定的供給 15
- 2 持続的利用を可能にする資源づくり 18
- 3 経営感覚のある人づくりと組織の強化 29
- 4 都市と共生する漁村づくり 35
- 5 有明海の再生対策 40
- 6 水産業を支える試験研究の推進 42
- 7 施策体系と予算 43

各海区の動向

- 1 筑前海区 44
- 2 有明海区 50
- 3 豊前海区 56
- 4 内水面 61

資料編